

第1回 沖縄交通リ・デザインシンポジウム

沖縄県北部地域の交通課題と 地域課題解決に向けた 取り組みのご紹介

KPMGコンサルティング株式会社（名護スマートシティ推進協議会 構成企業）

KPMGモビリティ研究所

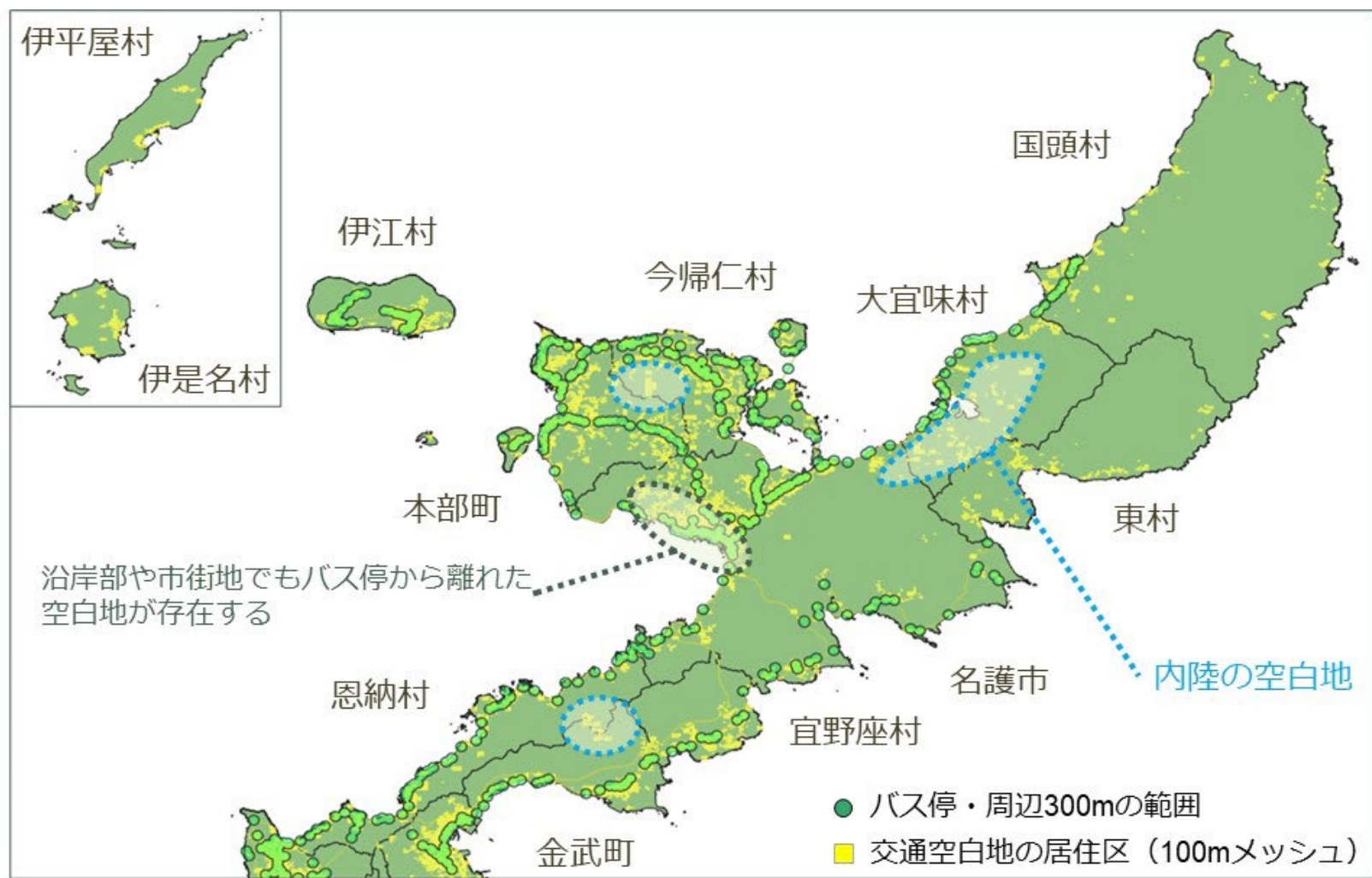
ビジネスイノベーションユニット スマートシティチーム

小竹 輝幸

2025年3月18日

沖縄県北部における 交通課題

地図と統計からみる沖縄県北部の交通空白地（民間路線バス）



出所：総務省統計局「国勢調査2022」を基にKPMG作成

地図と統計からみる沖縄県北部の交通空白地（民間路線バス）

	交通空白地	非交通空白地	総人口(人)	空白地人口(人)
沖縄本島全域	21.7%	78.3%	1,338,251	290,400
北部12市町村	38.3%	61.7%	128,259	49,124
伊平屋村	100%		1,126	1,126
伊是名村	100%		1,322	1,322
東村	100%		1,598	1,598
国頭村	62.3%	37.7%	4,517	2,814
大宜味村	60.4%	39.6%	3,092	1,867
宜野座村	46.4%	53.6%	5,833	2,704
名護市	37.4%	62.6%	63,554	23,759
今帰仁村	37.0%	63.0%	8,894	3,295
本部町	30.9%	69.1%	12,530	3,871
金武町	28.6%	71.4%	10,806	3,094
伊江村	28.3%	71.7%	4,118	1,166
恩納村	23.1%	76.9%	10,869	2,507

出所：総務省統計局「国勢調査2022」を基にKPMG作成
 沖縄本島全域の総人口は沖縄県ホームページ「住民基本台帳人口（令和6年）」より引用

北部12市町村の交通計画策定状況とコミュニティバス運営状況

No.	自治体名	計画名	コミュニティバス運営
1	名護市	名護市地域公共交通計画（令和4年3月策定）	名護市コミュニティバス
2	国頭村	—	国頭村営バス
3	大宜味村	—	東村コミュニティバス
4	東村	—	東村コミュニティバス
5	今帰仁村	—	—
6	本部町	—	—
7	恩納村	—	—
8	宜野座村	—	—
9	金武町	—	—
10	伊江村	—	—
11	伊平屋村	伊平屋村地域公共交通計画（令和6年3月策定）	伊平屋村コミュニティバス
12	伊是名村	—	—

名護市の交通政策およびコミュニティバスの運行支援

循環線（右・左）



二見以北線

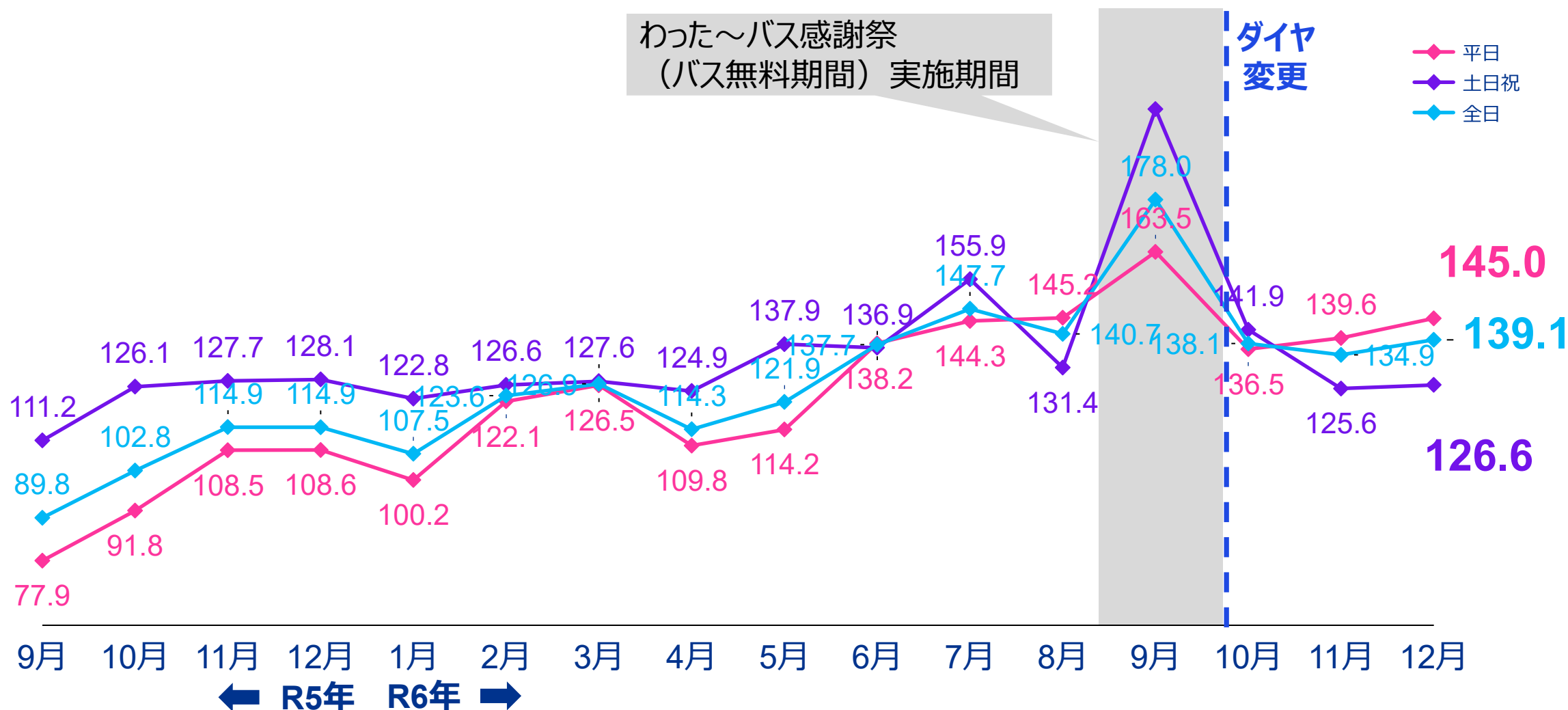


羽地・屋我地線



出所：名護市コミュニティバス なご丸リーフレット

名護市コミュニティバス（なご丸）循環線の利用者推移



出所：名護市地域公共交通協議会資料を基にKPMG作成

名護スマートシティ推進協議会と その取組み

一般社団法人 名護スマートシティ推進協議会

市町村の課題解決を目的にスマートシティを推進するにあたっては、行政だけでなく、民間や地場大学等も巻き込んだ取組みを推進することが重要である。そのため、核となる組織を発足した。



出所：名護スマートシティ推進協議会 ホームページ

名護スマートシティコンソーシアム

名護市の地域課題解決を目指した各種ワーキンググループ活動を展開



ワーキンググループ（WG）活動



スマートシティ関連イベントの開催



スマートシティ関連情報の提供・会員同士のリレーション構築

名護スマートシティコンソーシアム

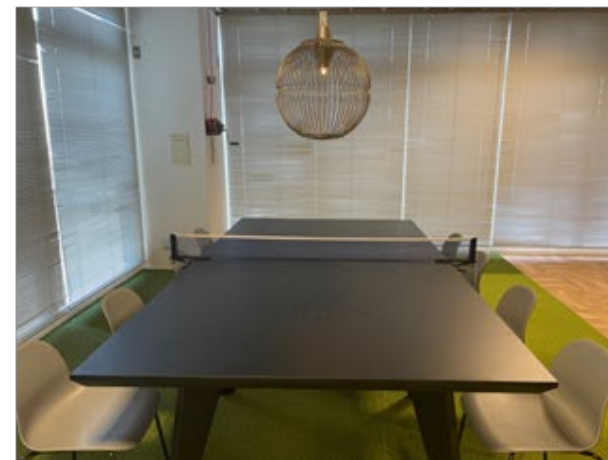
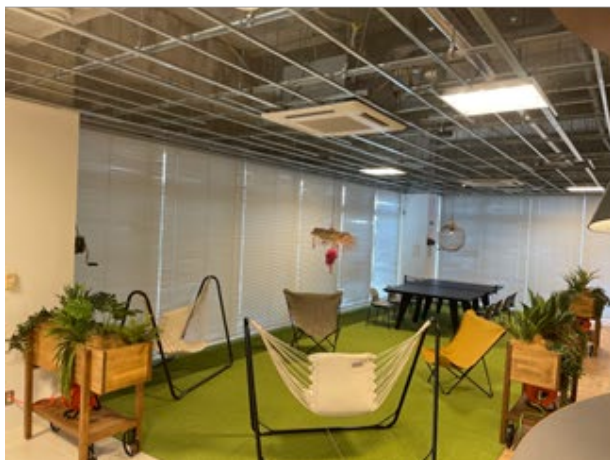
複数分野のワーキンググループを立ち上げ、地域課題解決に向けた活動を行っている

分野カットの視点



Nago Acceleration Garage

～名護におけるイノベーション創出・発信拠点～

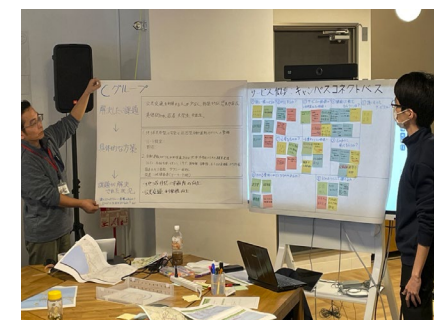


出所：Nago acceleration garage ホームページ

名護市の地域交通課題解決を 担うモビリティ人材育成事業 プログラム

名護市の地域交通課題解決を担うモビリティ人材育成事業プログラム

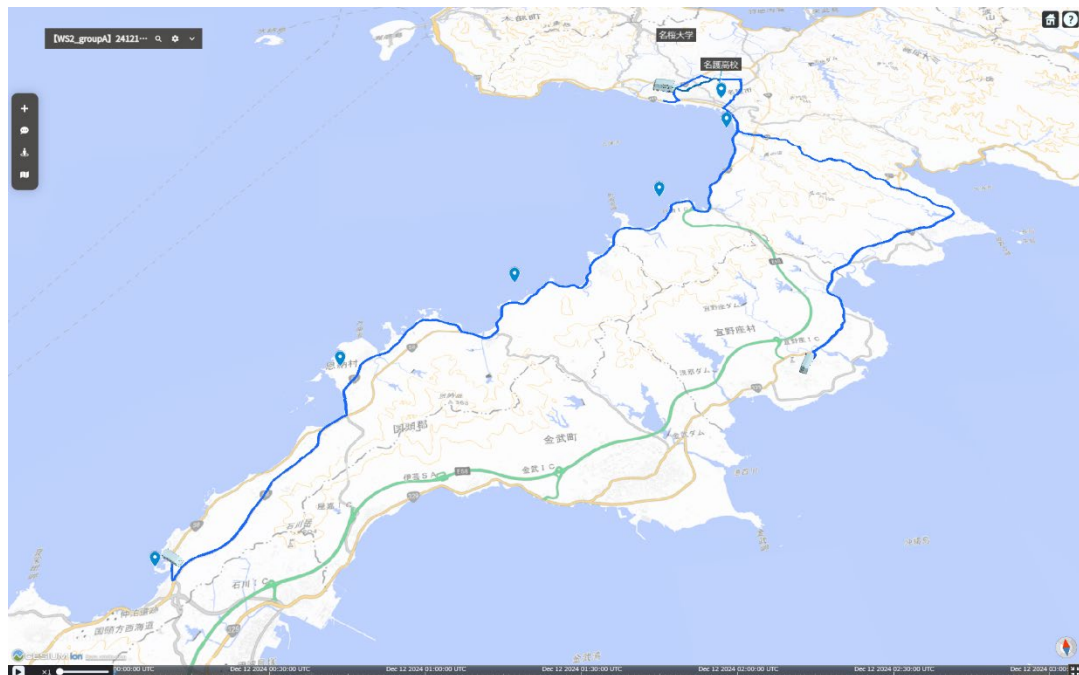
第1回 WS	①	交通課題、モビリティ、XR技術の専門家講義
	②	交通課題の整理、解決アイデアの創出
第2回 WS	④	ターゲットおよびサービス水準の設定
	⑤	3Dモデルを活用した地図やルートの作成
第3回 WS	⑥	フィールドワーク
	⑦	ビジネスモデルの作成



出所：KPMG撮影

名護市街地と南方向を結び、学生の自由な移動を支える共創基盤として、 スクールバスやライドシェアサービスの提供を提案

提案する運行ルート



出所：（株）ホロラボ「torinome」

名護漁港での 自動運転バスからの乗り換え



名護漁港に観光ランドマークとしてのロープウェイを敷設し、モビリティの拠点として主に北部に向かう観光客向けの交通手段を提案

モビリティ拠点（自動運転、ロープウェイ）

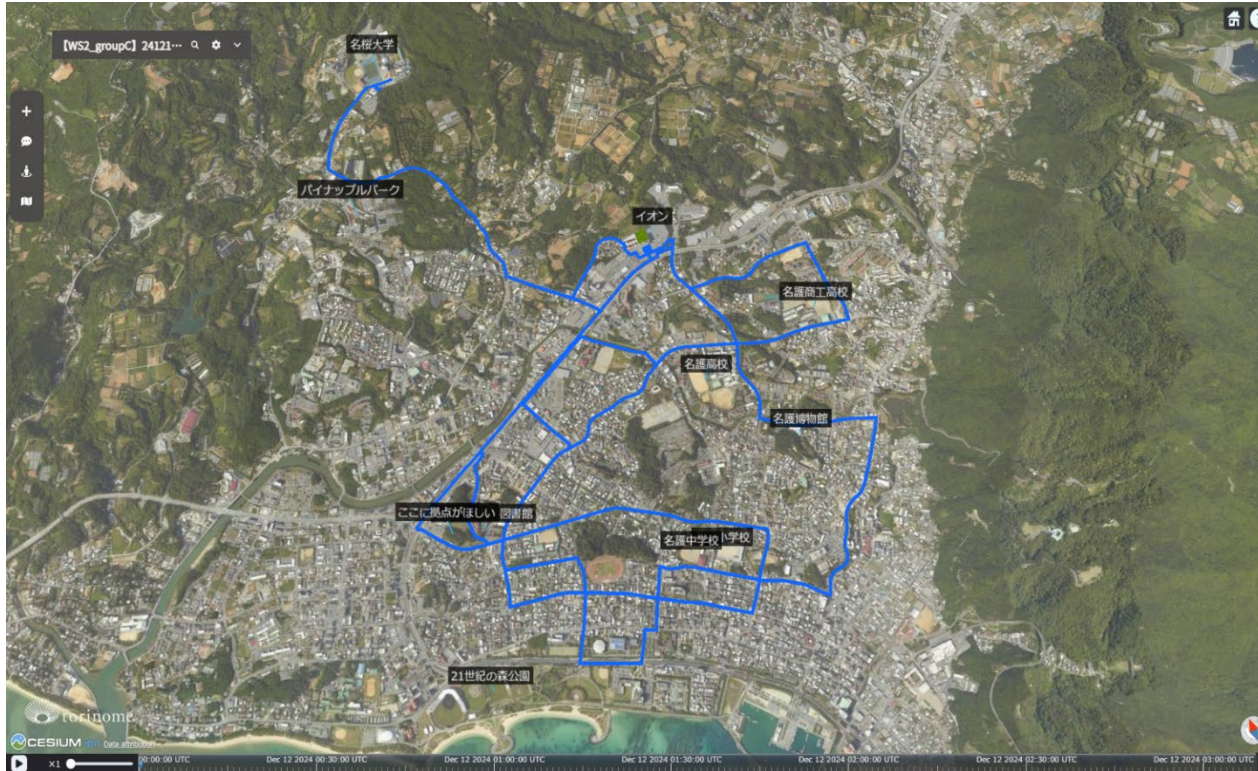


出所：（株）ホロラボ「torinome」

漁港に敷設するロープウェイ



大学と市街地とを結ぶ自動運転モビリティの路線図を作成し、 学生が市街地を利用しやすくなるような交通手段を提案



出所：(株) ホロラボ「torinome」

ビジネスモデルキャンパスを活用し、どんな課題をどのように解決するサービスで、 ビジネスとしてどう成り立たせるかを検討

ビジネスモデルキャンパス

<p>⑨ 誰と一緒にやるか？</p> <p>※ 誰と一緒に事業を行ったら、利用者により良いサービスを提供できるでしょうか？</p>	<p>⑧ 何をするか？</p> <p>※ 利用者に対してどのようなサービスを提供するかを具体的に考えてみましょう</p>	<p>② サービスの価値は？</p> <p><利用者の価値></p> <p><名護市の価値></p>	<p>④ 継続利用してもらうには？</p> <p>※ 利用者に末永く使ってもらうにはどういった工夫が必要でしょうか？</p>	<p>① 誰に向けたサービスか？</p> <p>※ 下記を基に架空の利用者像（ペルソナ）を作成して考えてみましょう</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年齢・ 性別・ 職業（内容、役職）・ 住んでいるところ・ ライフスタイル（起床、就寝時間）・ 性格・ 趣味や興味 など
	<p>⑦ サービス提供に必要なものは？</p> <p>※ 利用者にサービスを提供するために必要なものは何でしょう？</p>		<p>③ どのように利用してもらうか？</p> <p>※ 利用者にどのような方法で使ってもらうかを考えてみましょう！</p>	
<p>⑥ かかる費用にはどんなものがあるか？</p> <p>※ サービスを提供するのにかかる費用の種類を考えてみましょう</p>			<p>⑤ どのようにして儲けるか？</p> <p>※ 利用者からどのようにして提供したサービスへの対価を支払ってもらうか、考えてみましょう</p>	

ご清聴ありがとうございました



出所：KPMG撮影



KPMGコンサルティング株式会社
KPMGモビリティ研究所
マネジャー
小竹 輝幸
E: Teruyuki.kotake@jp.kpmg.com

本講演で紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則および利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティング株式会社までお問い合わせください。



ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供できるよう努めておりますが、情報を受け取られた時点およびそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2025 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved.

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.

Document Classification: KPMG Public